

市民アンケート調査結果報告書

平成21年10月

足 利 市



1	調査の概要	1
①	調査の目的	1
②	調査の方法	1
③	調査項目	1
④	回収状況	1
⑤	留意点	1
2	調査結果	2
(1)	基本属性	2
①	性別	2
②	年齢	2
③	職業	3
④	通勤・通学先	3
⑤	居住年数	4
⑥	家族構成	4
⑦	住宅	5
⑧	居住地区	5
(2)	足利市総合計画での取り組み	6
①	満足度	6
①—2	満足度（加重平均値）	7
①—3	満足度（加重平均値）経年変化	8
②	重要度	9
②—2	重要度（加重平均値）	10
②—3	重要度（加重平均値）経年変化	11
■	満足度上位5位	12
■	重要度上位5位	13
■	満足度と重要度の関連（分布図）	14
■	自由記載意見等	15
(3)	市民の生活実践	17
①	ボランティア活動等への参加	17
②	健康づくりのための実践	18
(4)	情報について	19
①	「あしかがみ」の閲読	19
②	足利市ホームページの閲覧	20
③	市政情報の入手手段	21
④	「市議会だより」の閲読	22
(5)	今後における人口に対する本市の取り組み	23
3	アンケート調査票	

1 調査の概要

① 調査の目的

足利市では、第6次総合計画に基づいたまちづくりを進めています。市民が日常生活を通して感じる市の取り組みに対する満足度、重要度等をお聴きし、総合計画の進行管理に役立てようとするものです。

② 調査の方法

- 1) 対象者 住民登録する満20歳以上80歳未満の市民1,500人
- 2) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出（H21.6.1現在）
- 3) 調査方法 郵送調査（ハガキによる催告1回）
- 4) 調査期間 平成21年6月22日～7月10日

③ 調査項目

- 1) 基本属性
- 2) 足利市総合計画での取り組み
- 3) 市民の生活実践
- 4) 情報について
- 5) 今後における人口に対する本市の取り組み
- 6) 自由意見

④ 回収状況

- 1) 配付数 1,500
- 2) 有効回収数 851
- 3) 有効回収率 56.7%

■ 性別

	男	女	不明
配付数	753	747	
有効回収数	384	456	11
有効回収率	51.0%	61.0%	

■ 年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
配付数	195	270	242	279	313	201	
有効回収数	74	132	116	183	203	133	10
有効回収率	37.9%	48.9%	47.9%	65.6%	64.9%	66.2%	

■ 地区別

	旧市内	毛野・富田	三重・山前・三和・葉鹿・小俣	北郷・名草	山辺・矢場川・御厨・久野・梁田
配付数	254	204	405	140	497
有効回収数	182	101	227	72	255
有効回収率	71.7%	49.5%	56.0%	51.4%	51.3%

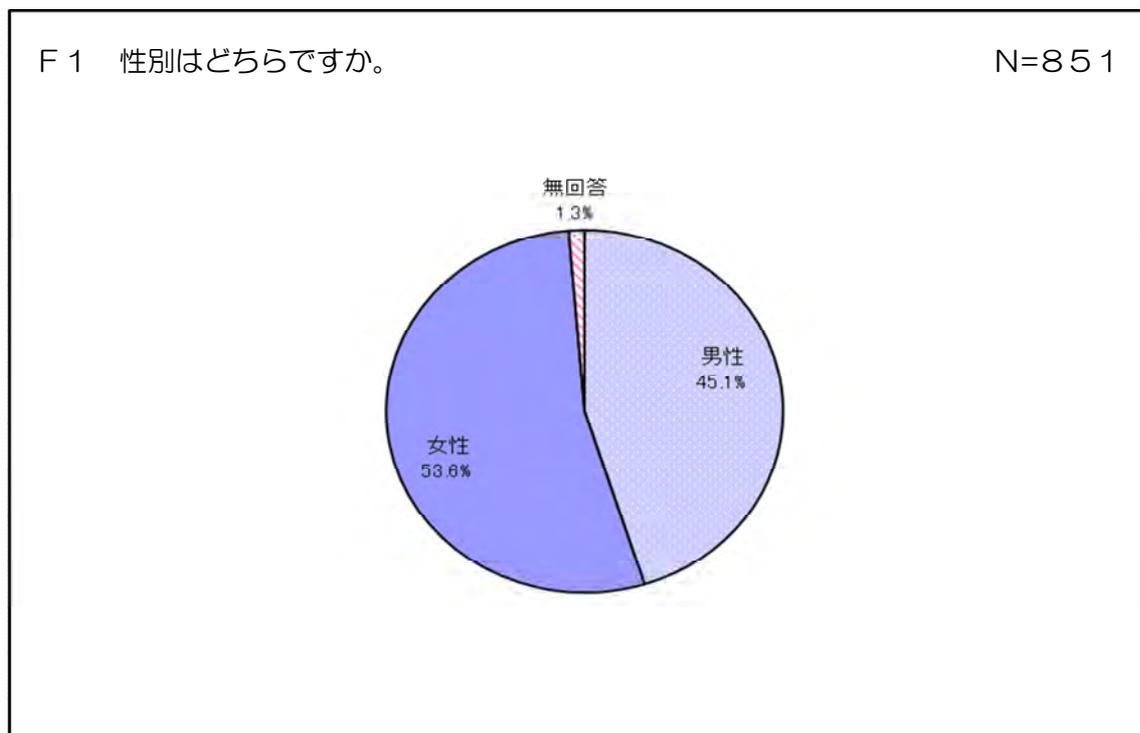
⑤ 留意点

- 1) 割合は、小数点以下第2位を四捨五入のため、合計が100%とならない場合がある。
- 2) 2つ以上選択する設問では、割合の合計が100%を超える場合がある。

2 調査結果

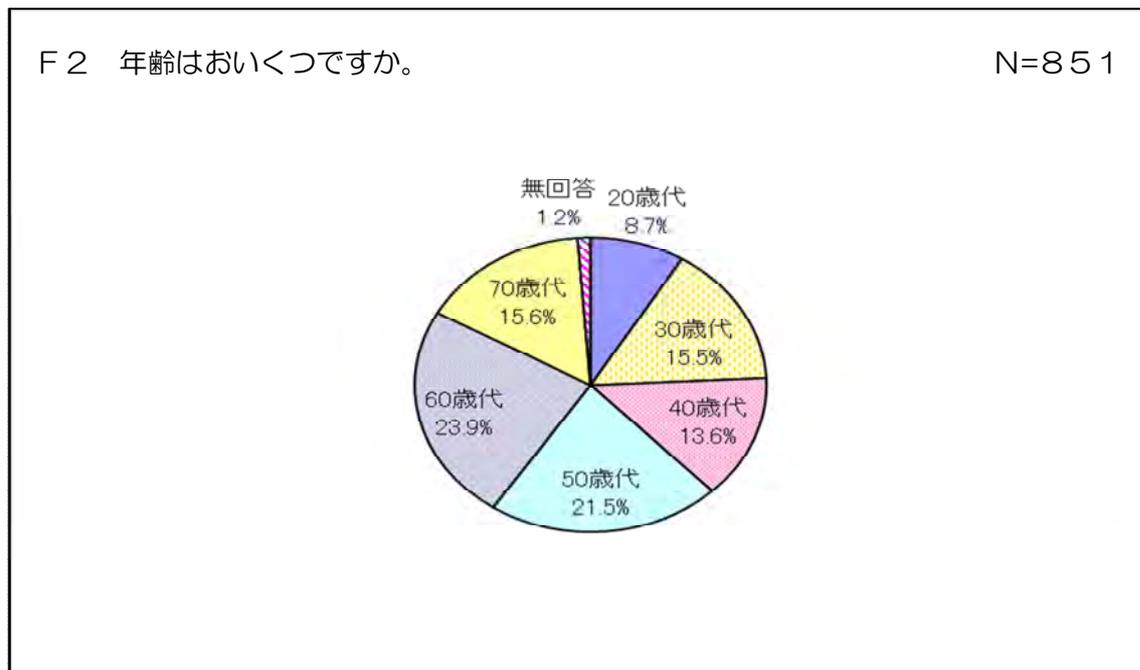
(1) 基本属性

① 性別



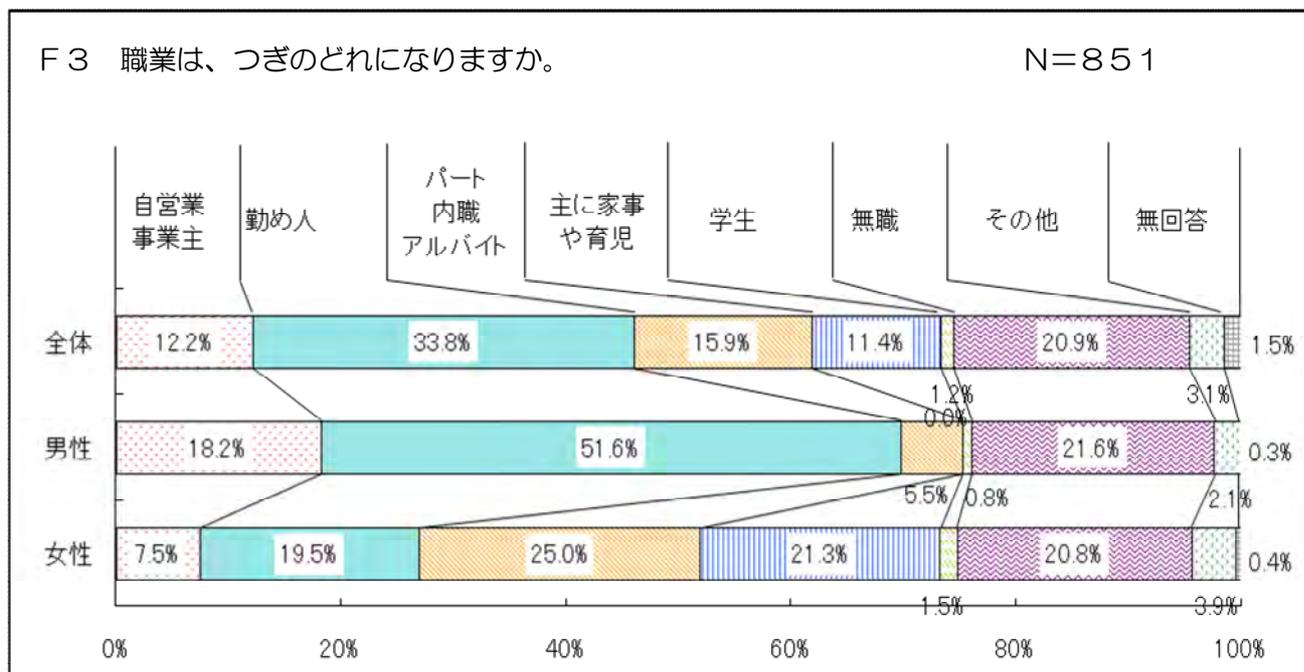
性別は、「女性」が53.6%、「男性」が45.1%となっています。

② 年齢



年齢は、「60歳代」が23.9%で最も多く、次いで「50歳代」が21.5%、「70歳代」が15.6%となっています。

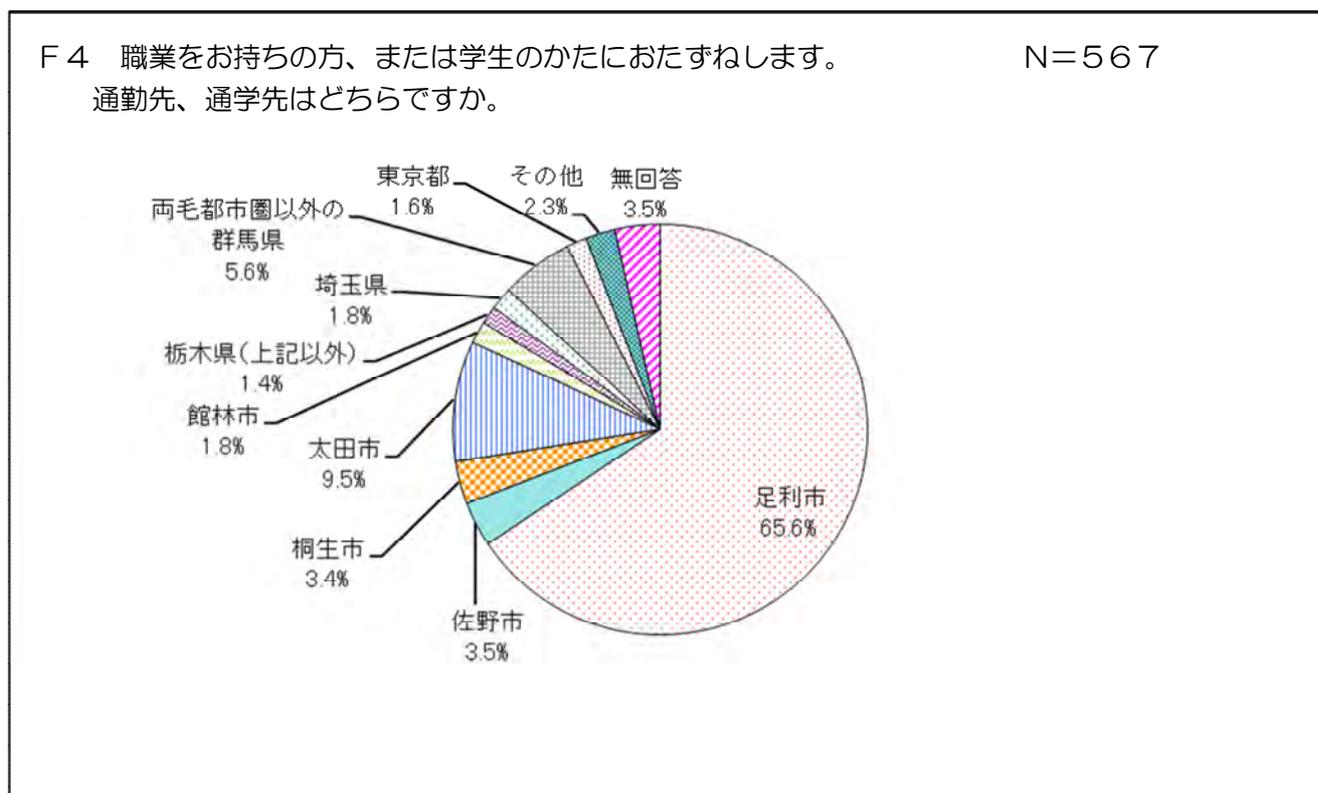
③ 職業



職業は、「勤め人」が33.8%、「パート・内職・アルバイト」が15.9%、「自営業・事業主」が12.2%で、合わせて61.9%が『働いている方』となります。

『働いている方』の割合は、男性が75.3%、女性が52.0%となっています。

④ 通勤・通学先



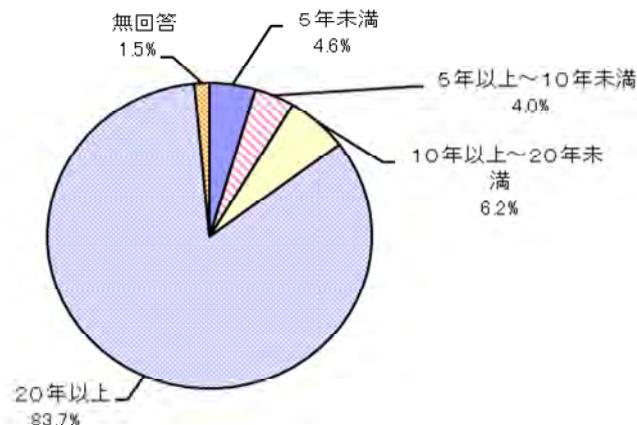
通勤・通学先は、「足利市内」の65.6%が最も多く、次いで「太田市」が9.5%、「佐野市」が3.5%となっており、「両毛都市圏以外の群馬県」が5.6%となっています。

(なお、回答者のうち、「学生」は10人であり、全体の傾向に対する影響は少ない。)

⑤ 居住年数

F 5 足利市にお住まいになって、どれくらいになりますか。

N=851

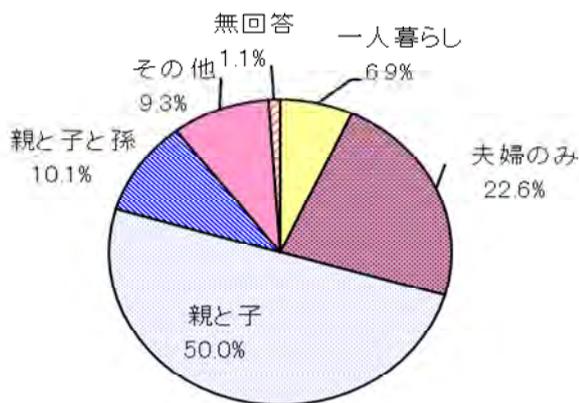


居住年数は、「20年以上」が83.7%と大多数を占め、次いで「10年以上～20年未満」が6.2%、「5年未満」が4.6%となっています。

⑥ 家族構成

F 6 一緒にお住まいの家族構成は、つぎのどれになりますか。

N=851



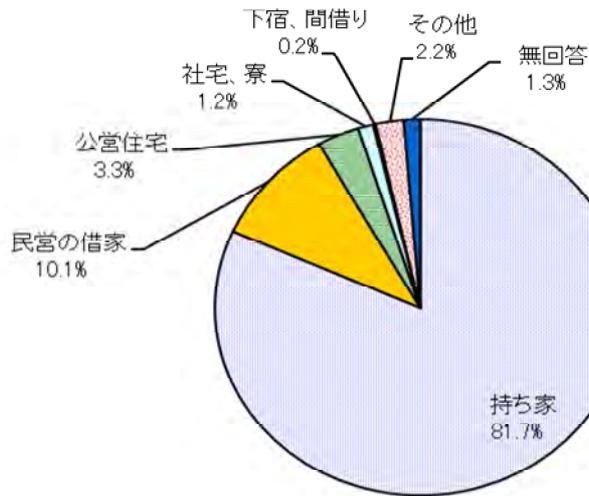
家族構成は、「親と子」が50.0%、「夫婦のみ」が22.6%、「親と子と孫」が10.1%となっています。

「親と子」、「夫婦のみ」に「一人暮らし」を加えた『核家族』の割合は、79.5%となっています。

⑦ 住宅

F7 お住まいは、つぎのどれになりますか。

N=851

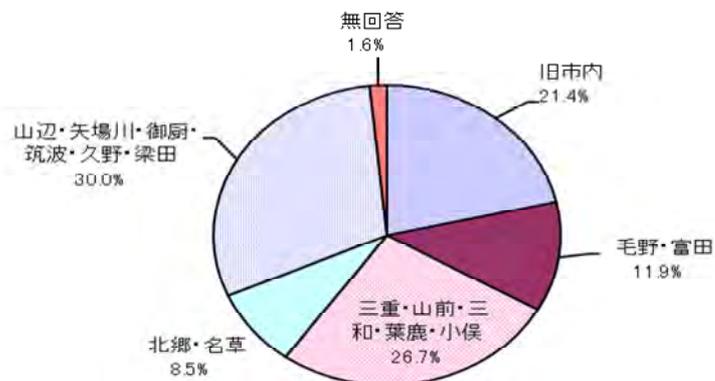


自宅は、「持ち家」が81.7%で圧倒的に多く、「民営の借家」、「公営住宅」、「社宅、寮」、「下宿、間借り」の合計が14.8%となっています。

⑧ 居住地区

F8 お住まいの地区は、どちらですか。

N=851



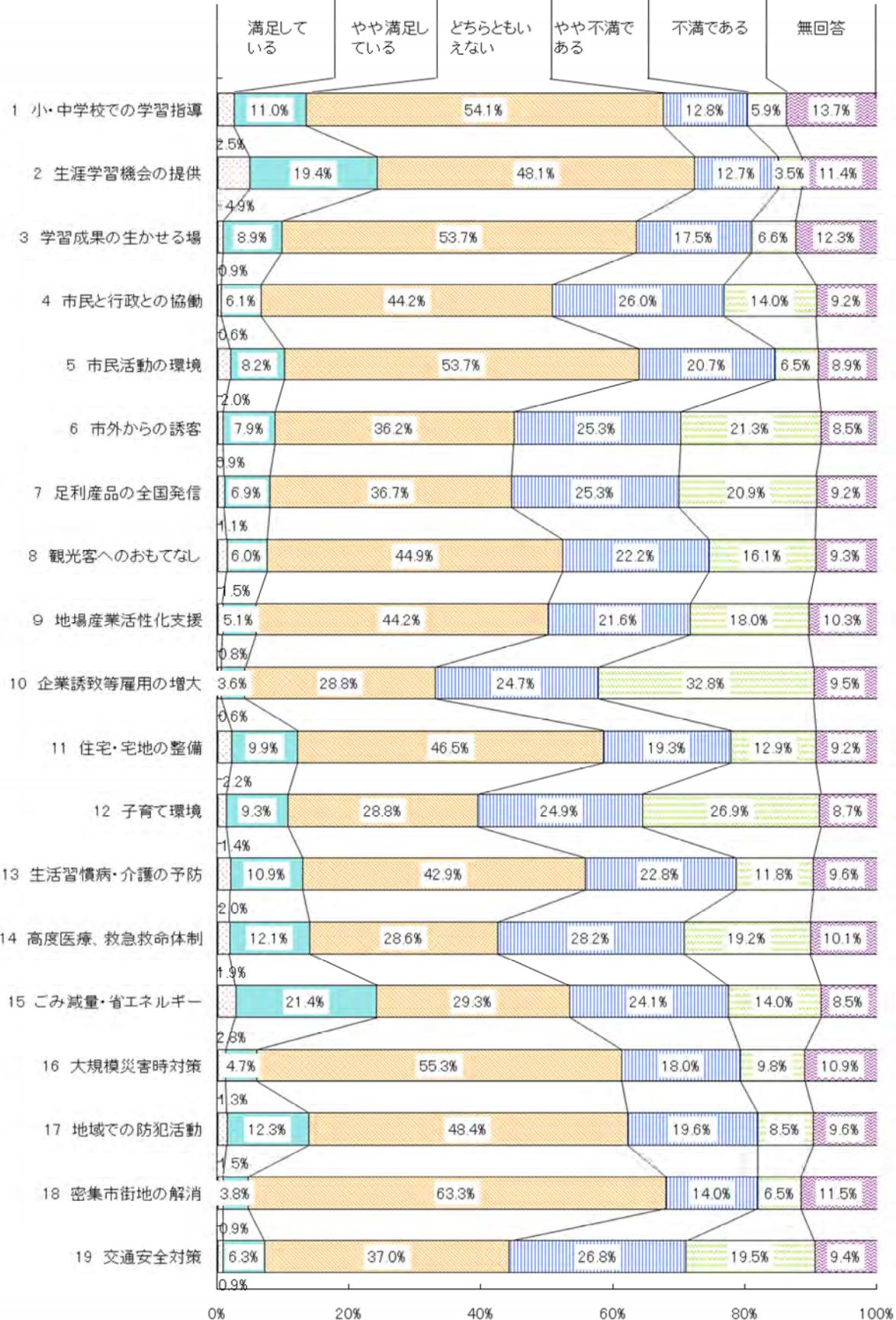
市内を4つのブロックに分けた居住地区は、南部の「山辺・矢場川・御厨・筑波・久野・梁田」が30.0%、西部の「三重・山前・三和・葉鹿・小俣」が26.7%、「旧市内」が21.4%、東部の「毛野・富田」が11.9%、北部の「北郷・名草」が8.5%となっています。

(2) 足利市総合計画での取り組み

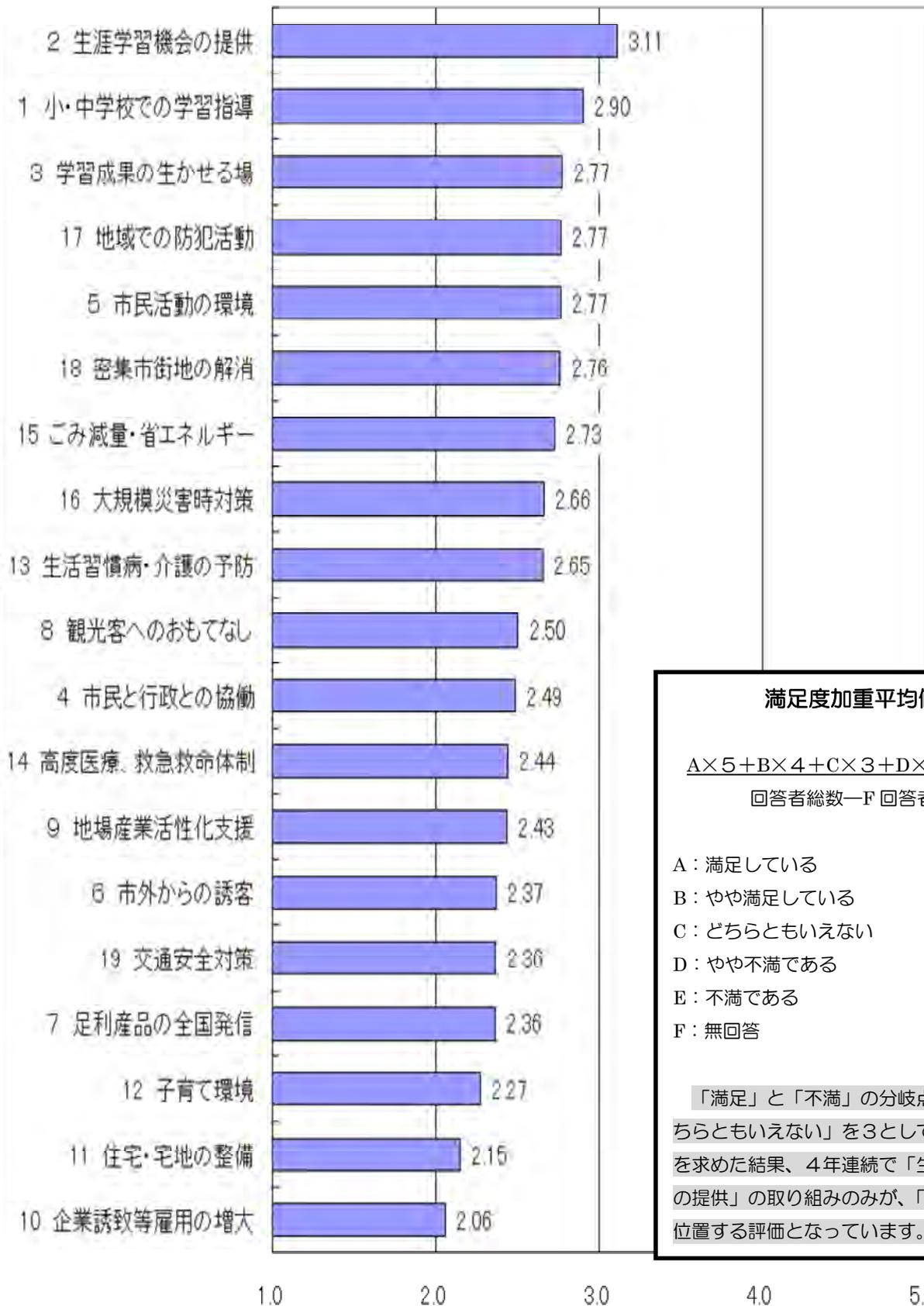
① 満足度

問1 本市が進めている取り組みに満足していますか。

それぞれの項目について、あなたのお考えに近い番号をお選びください。



① — 2 満足度（加重平均値）



満足度加重平均値

$$\frac{A \times 5 + B \times 4 + C \times 3 + D \times 2 + E \times 1}{\text{回答者総数} - F \text{ 回答者数}}$$

回答者総数 - F 回答者数

- A：満足している
- B：やや満足している
- C：どちらともいえない
- D：やや不満である
- E：不満である
- F：無回答

「満足」と「不満」の分岐点となる「どちらともいえない」を3として加重平均値を求めた結果、4年連続で「生涯学習機会の提供」の取り組みのみが、「満足」側に位置する評価となっています。

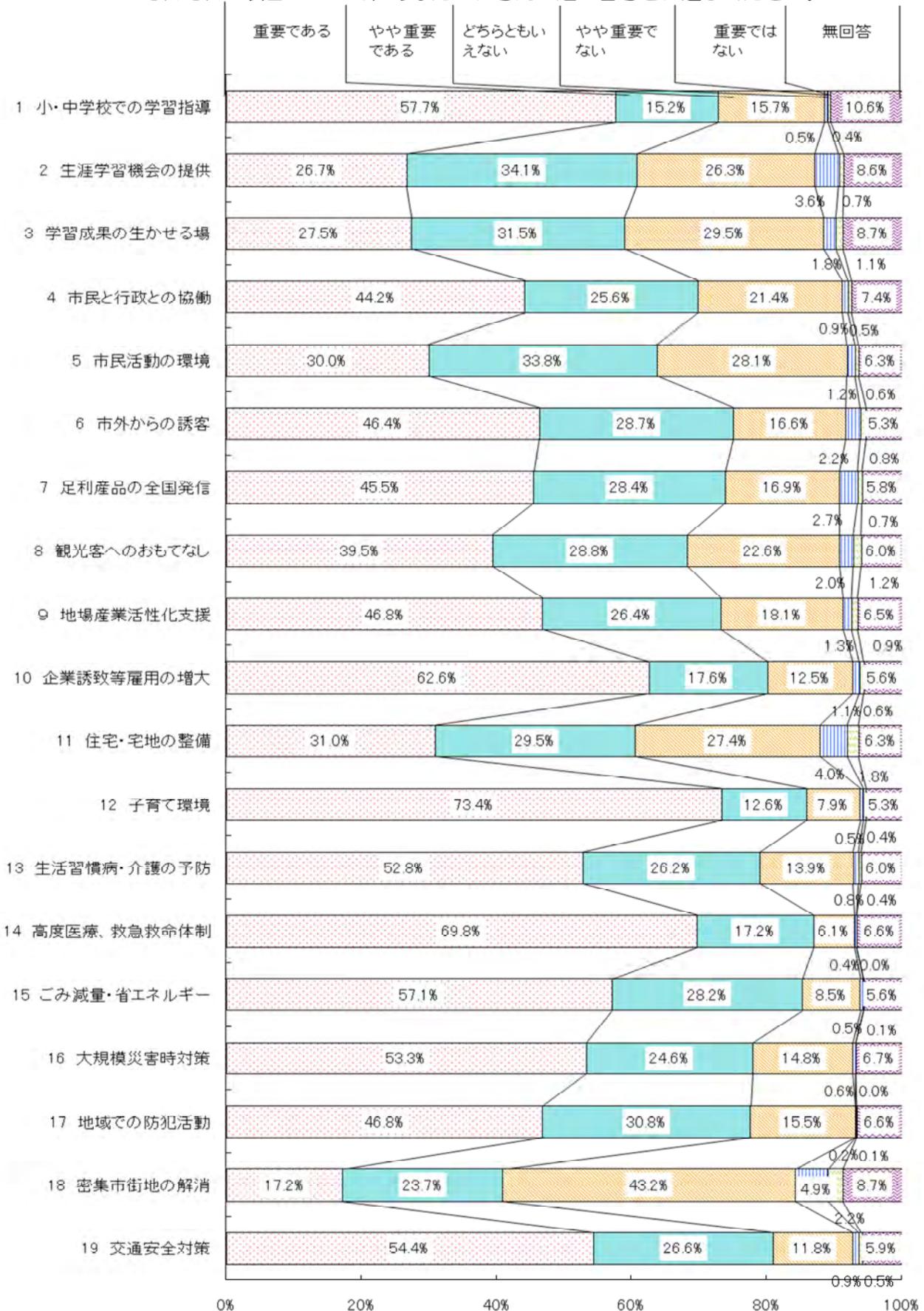
①— 3 満足度（加重平均値）経年変化



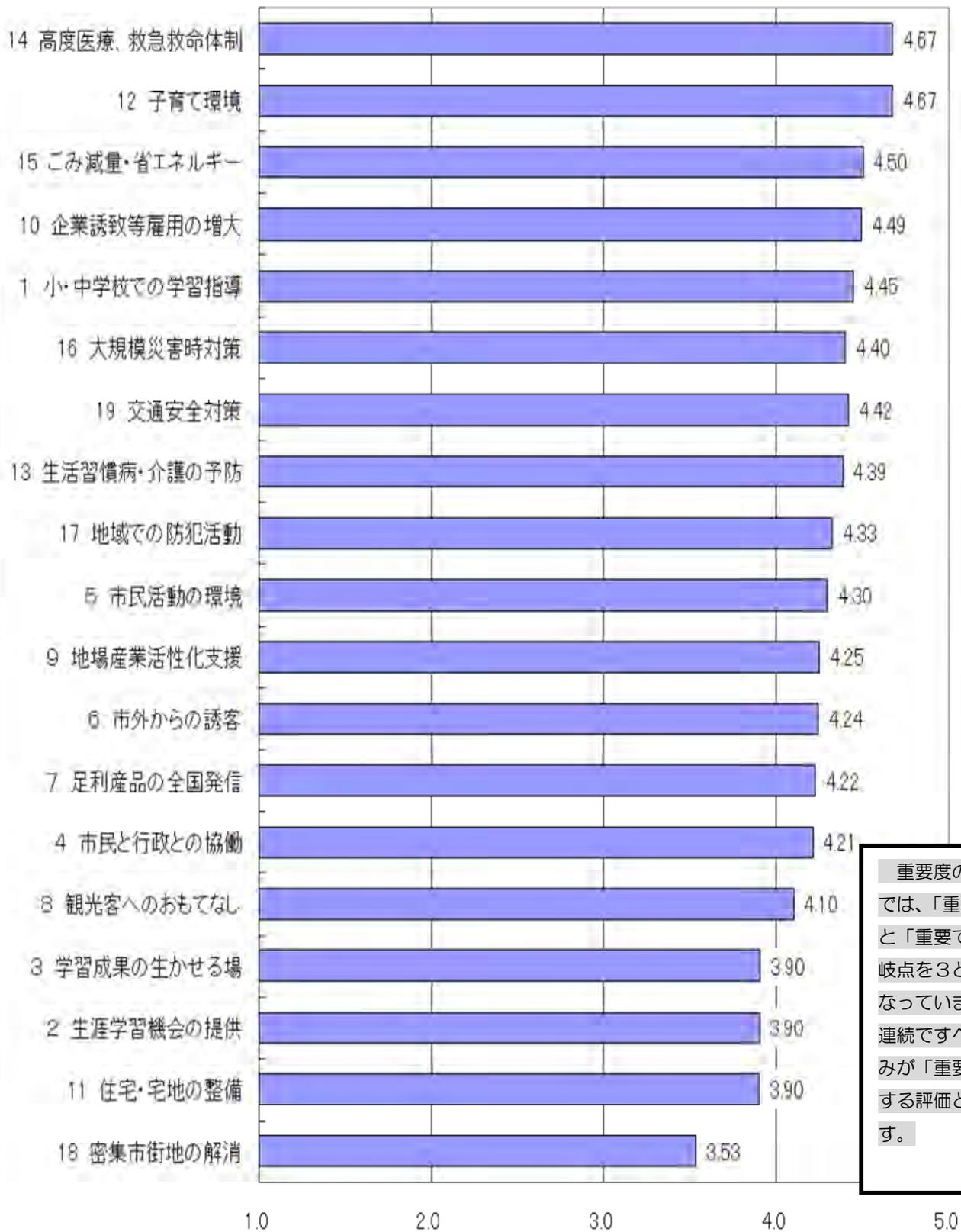
② 重要度

問1-2 本市が進めている取り組みの重要性についてどうお考えですか。

それぞれの項目について、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

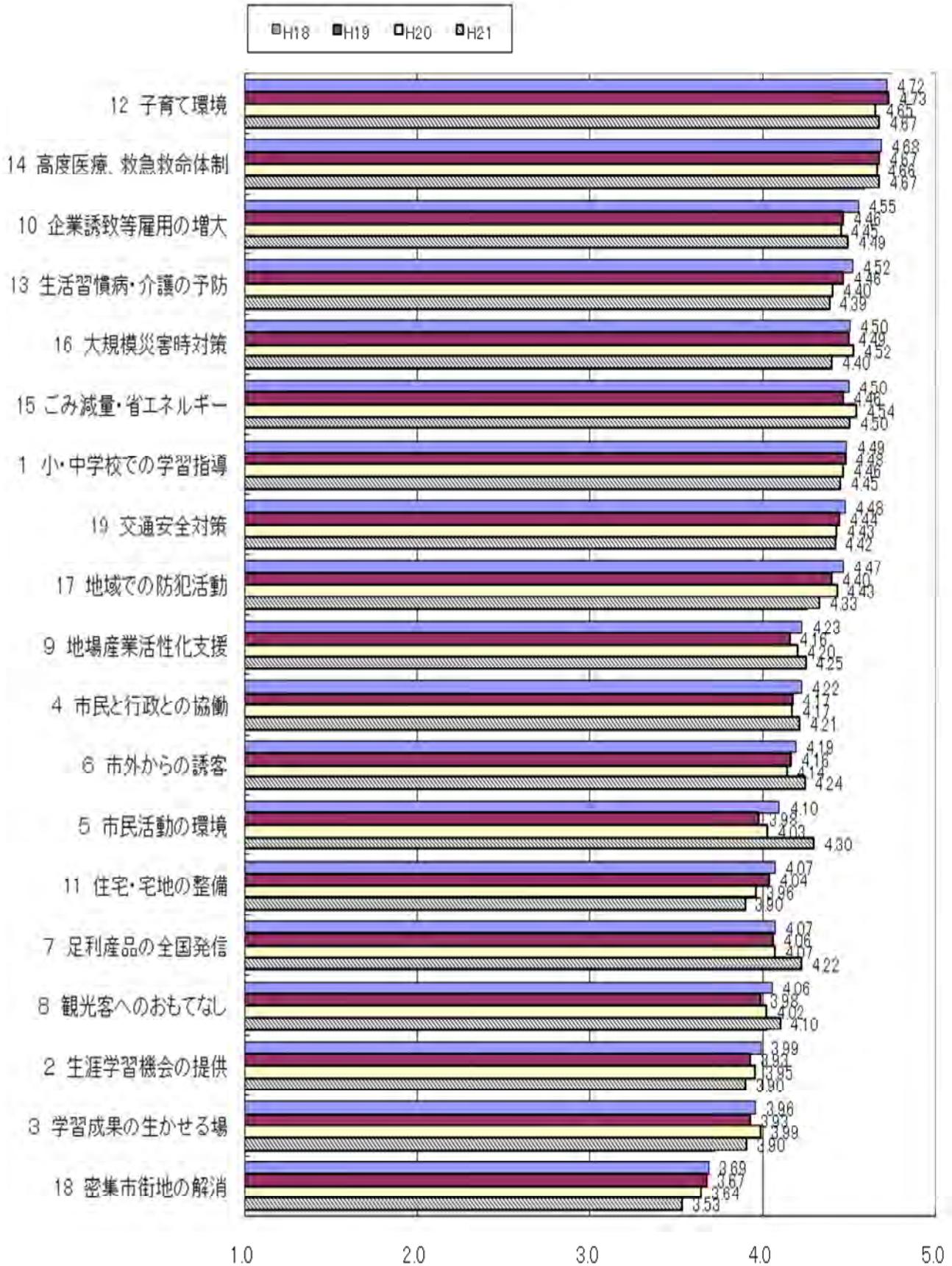


② 一2 重要度（加重平均値）



重要度の加重平均値では、「重要である」と「重要でない」の分岐点を3とする数値となっていますが、4年連続ですべての取り組みが「重要」側に位置する評価となっています。

②-3 重要度（加重平均値）経年変化



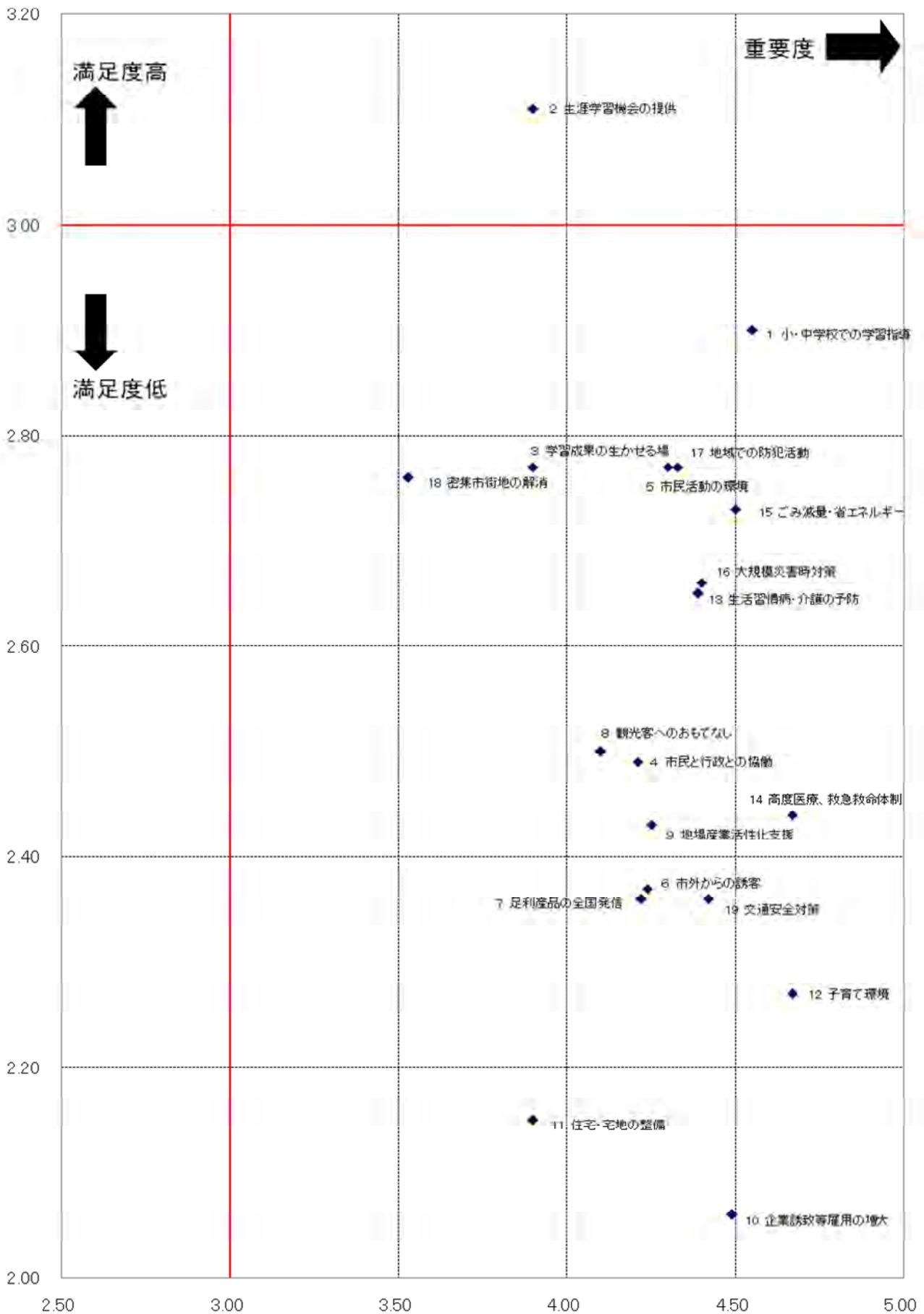
■ 満足度上位5位

属性		1位	2位	3位	4位	5位
性別	男	2 生涯学習機 会の提供 3.03	1 小・中学校 での学習指導 2.91	15 ごみ減量・ 省エネルギー 2.78	5 市民活動の 環境 2.77	3 学習成果 18 密集市街地 2.75
	女	2 生涯学習機 会の提供 3.18	1 小・中学校 での学習指導 2.89	17 地域での 防犯活動 2.83	3 学習成果の 生かせる場 2.79	18 密集市街地 の解消 2.78
年齢	20歳代	2 生涯学習機 会の提供 3.03	1 小・中学校 での学習指導 3.01	18 密集市街地 の解消 2.90	17 地域での 防犯活動 2.82	11 住宅・宅地 の整備 2.78
	30歳代	2 生涯学習機 会の提供 3.06	1 小・中学校 での学習指導 2.79	18 密集市街地 の解消 2.78	5 市民活動の 環境 2.76	3 学習成果の 生かせる場 2.70
	40歳代	2 生涯学習機 会の提供 3.06	5 市民活動の 環境 2.84	3 学習成果の生かせる場 18 密集市街地の解消 2.81		1 学習指導 17 防犯活動 2.79
	50歳代	2 生涯学習機 会の提供 3.08	1 小・中学校 での学習指導 2.84	18 密集市街地 の解消 2.76	3 学習成果の 生かせる場 2.72	17 地域での 防犯活動 2.71
	60歳代	2 生涯学習機 会の提供 3.16	1 小・中学校 での学習指導 2.93	15 ごみ減量・ 省エネルギー 2.88	3 学習成果の 生かせる場 2.80	17 地域での 防犯活動 2.79
	70歳以上	2 生涯学習機 会の提供 3.27	1 小・中学校 での学習指導 3.16	15 ごみ減量・ 省エネルギー 3.07	3 学習成果の 生かせる場 3.01	13 生活習慣病 介護の予防 2.98
居住地区	旧市内	2 生涯学習機 会の提供 3.15	1 小・中学校 での学習指導 2.94	5 市民活動の 環境 2.91	17 地域での 防犯活動 2.77	18 密集市街地 の解消 2.76
	毛野・富田	2 生涯学習機 会の提供 3.08	1 小・中学校 での学習指導 3.00	3 学習成果の生かせる場 18 密集市街地の解消 2.83		15 ごみ減量・ 省エネルギー 2.82
	三重・山 前・三和・ 葉鹿・小俣	2 生涯学習機 会の提供 3.09	1 小・中学校 での学習指導 2.91	3 学習成果の生かせる場 18 密集市街地の解消 2.81		17 地域での 防犯活動 2.76
	北郷・名草	2 生涯学習機 会の提供 3.22	1 小・中学校 での学習指導 2.86	5 市民活動の環境 17 地域での防犯活動 2.80		18 密集市街地 の解消 2.75
	山辺・矢場川・ 御厨・筑波・久 野・梁田	2 生涯学習機 会の提供 3.09	1 小・中学校 での学習指導 2.84	17 地域での 防犯活動 2.80	15 ごみ減量・ 省エネルギー 2.78	3 学習成果の 生かせる場 2.77

■ 重要度上位5位

属性		1位	2位	3位	4位	5位
性別	男	12 子育て環境 4.64	14 高度医療、 救急救命体制 4.63	10 企業誘致等 雇用の増大 4.59	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.42	1 小・中学校 での学習指導 4.39
	女	14 高度医療、 救急救命体制 4.71	12 子育て環境 4.70	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.56	1 小・中学校 での学習指導 4.50	16 大規模災害 時対策 19 交通安全 4.48
年齢	20歳代	12 子育て環境 4.78	14 高度医療、 救急救命体制 4.62	16 大規模災害 時対策 4.51	19 交通安全対 策 4.41	1 小・中学校 での学習指導 4.36
	30歳代	14 高度医療、 救急救命体制 4.73	12 子育て環境 4.70	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.53	17 地域での防 犯活動 4.44	16 大規模災害 時対策 4.43
	40歳代	12 子育て環境 4.74	14 高度医療、 救急救命体制 4.72	1 小・中学校 での学習指導 4.63	10 企業誘致等 雇用の増大 4.58	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.57
	50歳代	14 高度医療、 救急救命体制 4.66	12 子育て環境 4.63	10 企業誘致等 雇用の増大 4.59	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.55	13 生活習慣病 介護の予防 4.44
	60歳代	12 子育て環境 4.68	14 高度医療、 救急救命体制 4.67	10 企業誘致等 雇用の増大 4.60	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.52	19 交通安全対 策 4.47
	70歳以上	19 交通安全対 策 4.63	14 高度医療、 救急救命体制 4.62	12 子育て環境 4.54	10 企業誘致等 雇用の増大 4.53	13 生活習慣病 15 ごみ減量 4.45
居住地区	旧市内	12 子育て環境 4.74	14 高度医療、 救急救命体制 4.64	10 企業誘致等 雇用の増大 4.53	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.51	1 小・中学校 での学習指導 4.42
	毛野・富田	14 高度医療、 救急救命体制 4.73	12 子育て環境 4.60	10 企業誘致等 雇用の増大 4.53	16 大規模災害 時対策 4.48	19 交通安全対 策 4.46
	三重・山 前・三和・ 葉鹿・小俣	14 高度医療、 救急救命体制 4.74	12 子育て環境 4.67	1 小・中学校での学習指導 15 ごみ減量・省エネルギー 4.51		10 企業誘致等 雇用の増大 4.44
	北郷・名草	10 企業誘致等 雇用の増大 4.75	12 子育て環境 4.74	14 高度医療、 救急救命体制 4.65	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.60	19 交通安全対 策 4.58
	山辺・矢場川・ 御厨・筑波・久 野・梁田	12 子育て環境 4.64	14 高度医療、 救急救命体制 4.61	1 小・中学校 での学習指導 4.50	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.46	10 企業誘致等 雇用の増大 4.43

■ 満足度と重要度の関連



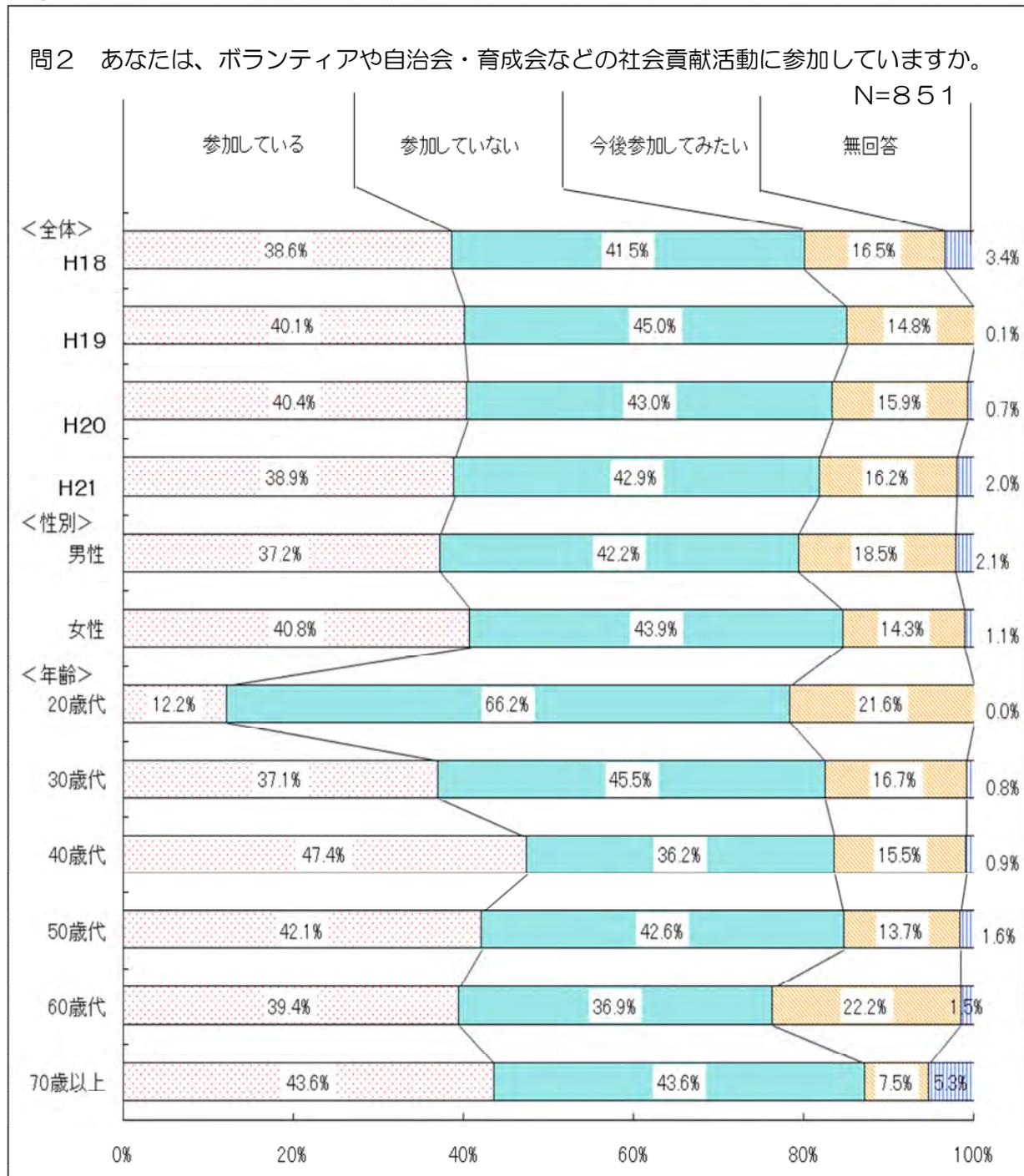
■ 本市の取り組みに対する自由記載意見等

1 小・中学校での学習指導活動の充実		
○ ソフト面（授業等）の質・量の不足		12件
○ 道徳面に力を入れて欲しい。		8件
○ 指導者の能力不足		5件
2 生涯学習の様々な学習機会・場の提供		
○ 経験がない・分からない		17件
○ 出席しやすい環境づくり・PRが不足		14件
○ 高齢化社会に向け重要		5件
3 学んだことが様々な活動に生かせる場づくり		
○ 学んだことを生かせる場が少ない。		5件
○ 現状の取り組みに満足		2件
4 市民と行政との協働の取り組み		
○ 両者が連携する姿勢が足りない。		9件
○ 協働の機会を増やすべき。		4件
○ PR不足		4件
5 ボランティアなどの市民活動がしやすい環境づくり		
○ 行政が環境を整えるべき。		7件
○ PRが足りない。		5件
○ 参加者の意識不足		3件
6 市外から多くの来訪者に来ていただくための取り組み		
○ PR・案内を工夫すべき。		13件
○ 駐車場・食事場所等、来訪者を受け入れる設備がない。		6件
○ 来訪者にとっての目玉がない。		5件
7 足利産品の全国発信の取り組み		
○ PRを今以上に行うべき。		20件
○ 足利産品がない・知らない。		11件
○ 新しい名産を作るべき。		2件
8 観光客へのおもてなしの向上の取り組み		
○ 駅周辺・駐車場等、観光客が利用しやすい施設の整備		9件
○ 観光客を呼び込むような市全体での一貫したまちづくり		4件
○ PRに力を入れるべき。		3件
9 地場産業活性化の支援		
○ 力を入れることで人口増につながる。		3件
○ 企業誘致に力を入れるべき。		2件
○ 必要な所に絞った支援をすべき。		2件
10 企業誘致等による雇用の増大の取り組み		
○ 企業誘致により雇用の創出をすべき。		21件
○ 工場以外（事務所やベンチャー）を誘致すべき。		3件
○ 企業誘致よりも優先すべき課題がある。		3件

11 住宅・宅地の整備		
○ 現行の制度・法律を改正し、整備に取り組むことが必要。	5件	
○ 様々な面から計画的に進めるべき。	4件	
○ 自然と共存した特色あるまちづくりをすべき。	4件	
12 安心して子どもを産み育てる環境づくり		
○ 医療費助成等を充実すべき。	24件	
○ 利用しやすい公園や道路の整備	11件	
○ 出産後の職場復帰など、社会全体での支援体制を作るべき。	7件	
13 生活習慣病・介護の予防対策		
○ 生活習慣病など、予防につながる対策をすべき。	6件	
○ 現状の取り組みに満足	3件	
○ 予防対策のPRが不足している。	2件	
14 高度医療、救急救命体制の整備・充実		
○ 救急の受け入れ体制の整備	14件	
○ 日赤移転を契機とした医療体制の充実を期待	7件	
○ 日赤のみに頼るのではなく、連携した医療体制を作る。	3件	
15 ごみ減量や省エネルギーへの取り組み		
○ ごみ袋の現在の値段設定に反対	23件	
○ ごみ袋は無料化ではなく、値下げにすべき。	19件	
○ 分別・リサイクルを徹底すべき。	10件	
16 大規模災害時への対策		
○ 日頃からきめ細かい対策が重要。	7件	
○ PR不足	6件	
○ 訓練の参加など、市民も日頃から備えるべき。	4件	
17 地域における防犯活動の推進		
○ 地域の協力を密にすべき。	6件	
○ 警察のパトロールを強化して欲しい。	5件	
○ 防犯カメラの設置など、新しい取り組みをすべき。	2件	
18 密集市街地の解消への取り組み		
○ PR不足	2件	
○ 現状では仕方がない。	2件	
○ あまり進展していない。	2件	
19 高齢者や障害者など誰もが安心して移動できる交通安全対策		
○ 生活路線バスの充実	10件	
○ バリアフリーの推進	8件	
○ 市民の交通マナーが悪すぎる。	4件	

(3) 市民の生活実践

① ボランティア活動等への参加



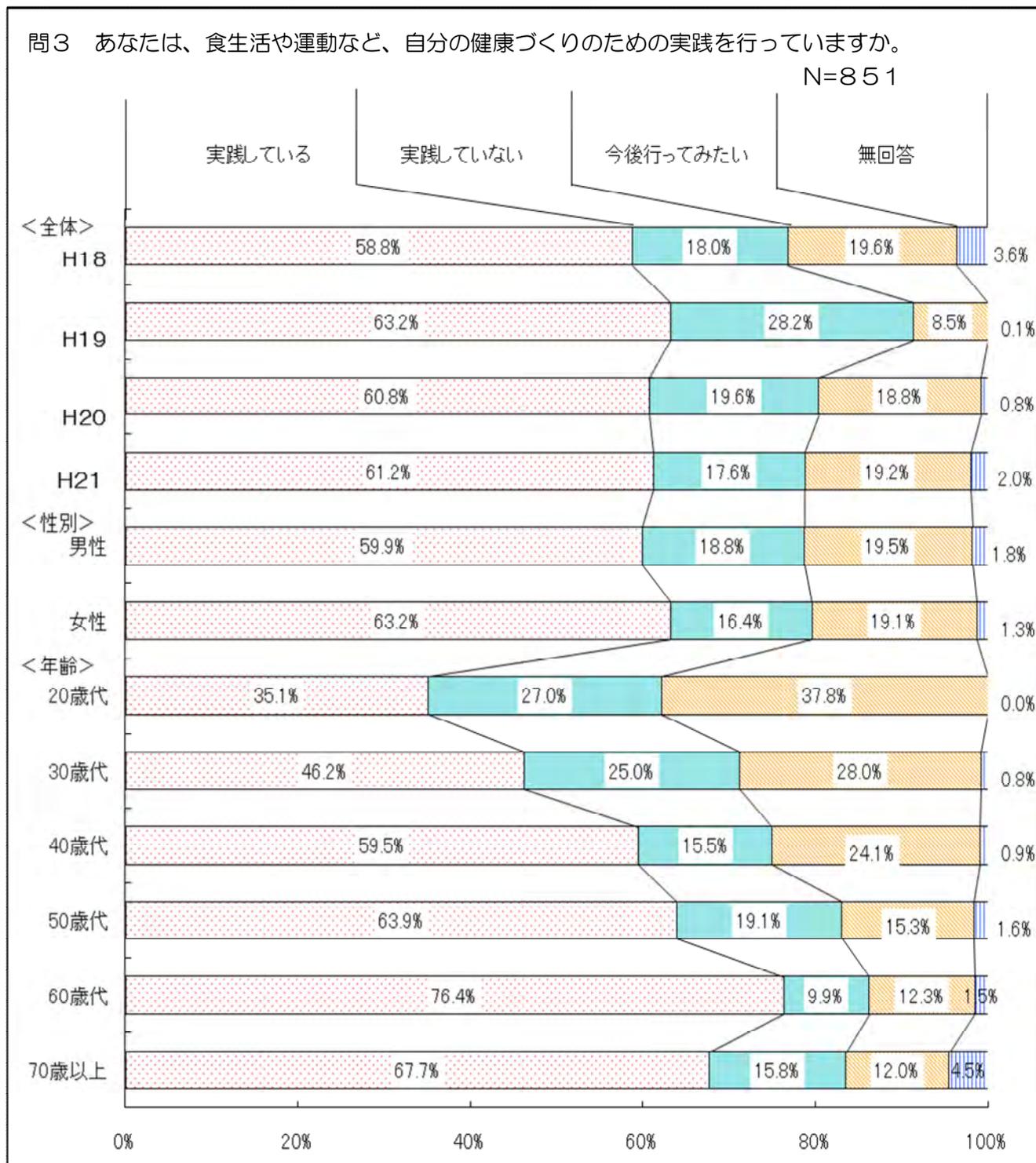
ボランティア活動等に「参加している」方の割合は、38.9%

ボランティアや自治会・育成会などの社会貢献活動に「参加している」方の割合は、前年度との比較では、1.5ポイント減の38.9%となっています。

性別では、女性の方が「参加している」割合が高く40.8%、年代別では、40歳代が最も高く47.4%となっています。

20歳代では、「参加している」割合が最も低い12.2%となっており、「今後参加してみたい」方の割合では、60歳代の22.2%が最も高くなっています。

② 健康づくりのための実践



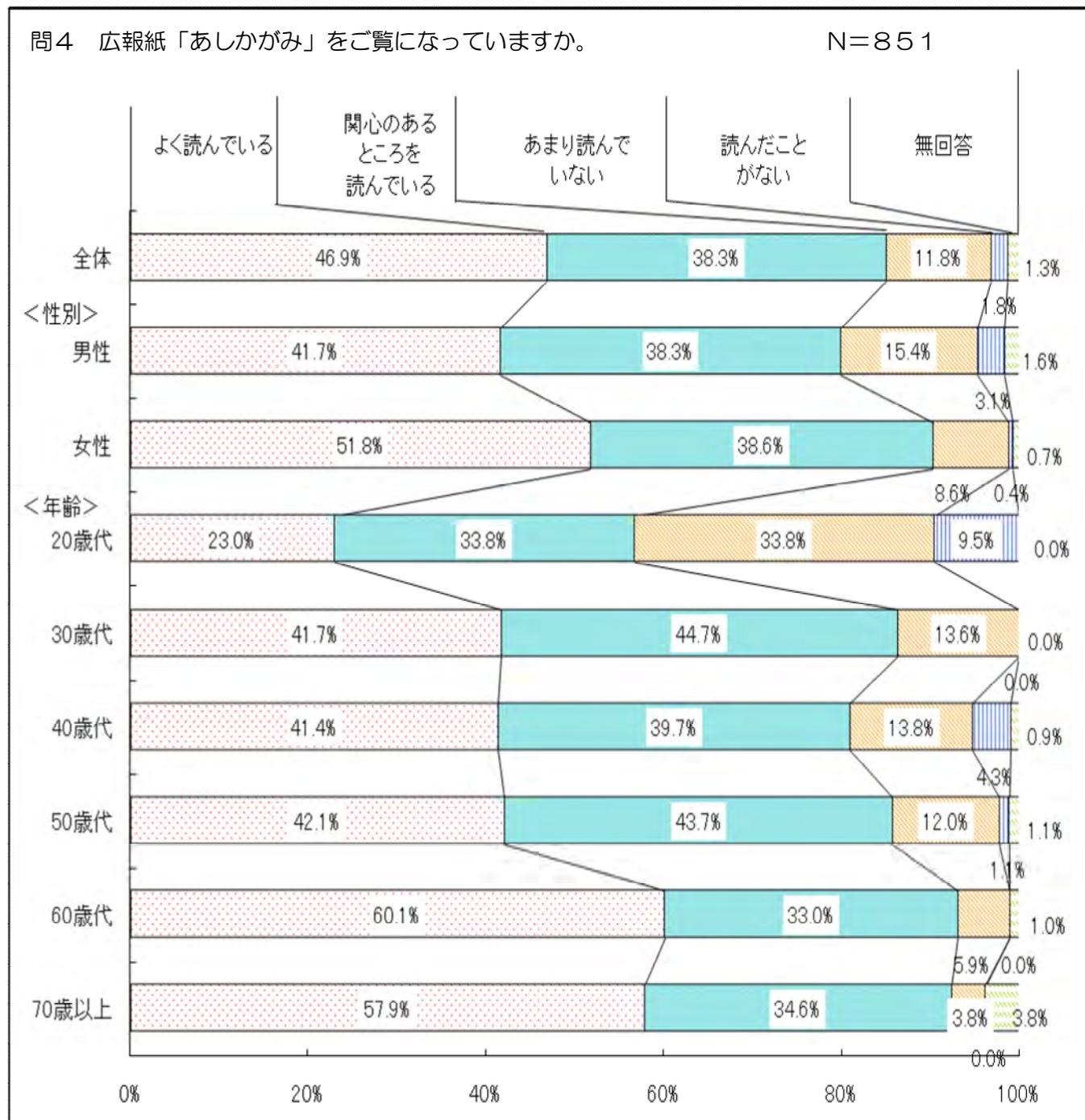
健康づくりを「実践している」方の割合は、61.2%

健康づくりのために食生活や運動などで「実践している」方の割合は、61.2%で前年と比較すると0.4ポイント増加しています。「実践していない」方の割合は、17.6%、「今後行ってみたい」方の割合は、19.2%となっています。

性別では、女性の方の「実践している」割合が高く、年代別では、40歳代以上の方が約60%以上の高い実践率となっており、60歳代が76.4%と最も高くなっています。

(4) 情報について

① 「あしかがみ」の閲読



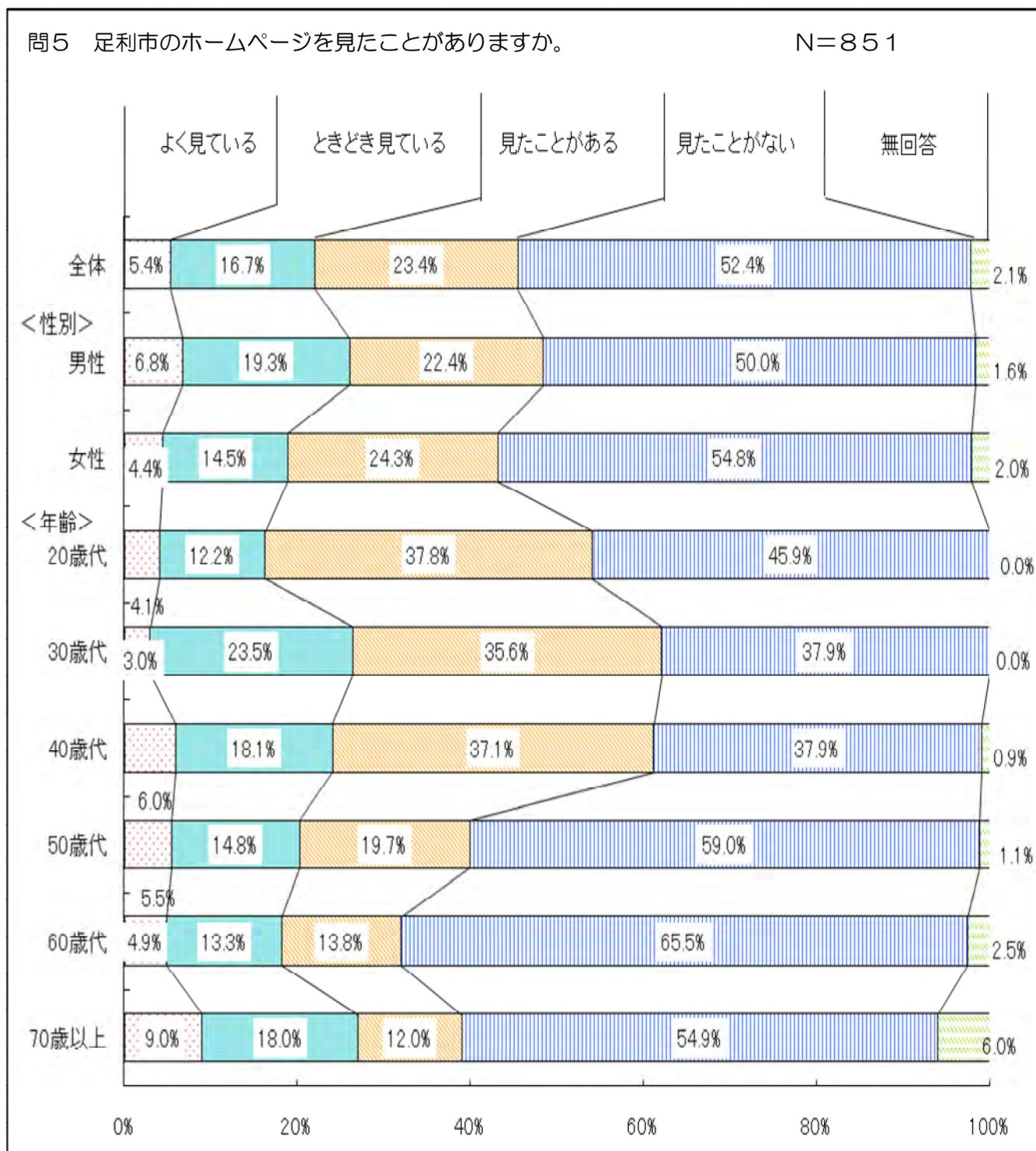
広報紙「あしかがみ」の閲読率は、85.2%

広報紙「あしかがみ」を「よく読んでいる」は46.9%、「関心のあるところを読んでいる」は38.3%で、これを合計すると、『読んでいる』方の割合は85.2%となります。

性別では、女性の方の『読んでいる』割合が高く、90.4%となっています。

年代別では、「よく読んでいる」方の割合が、年代が上がるに従って、より高くなる傾向にあり、60歳代の60.1%が最も高くなっています。

② 足利市ホームページの閲覧



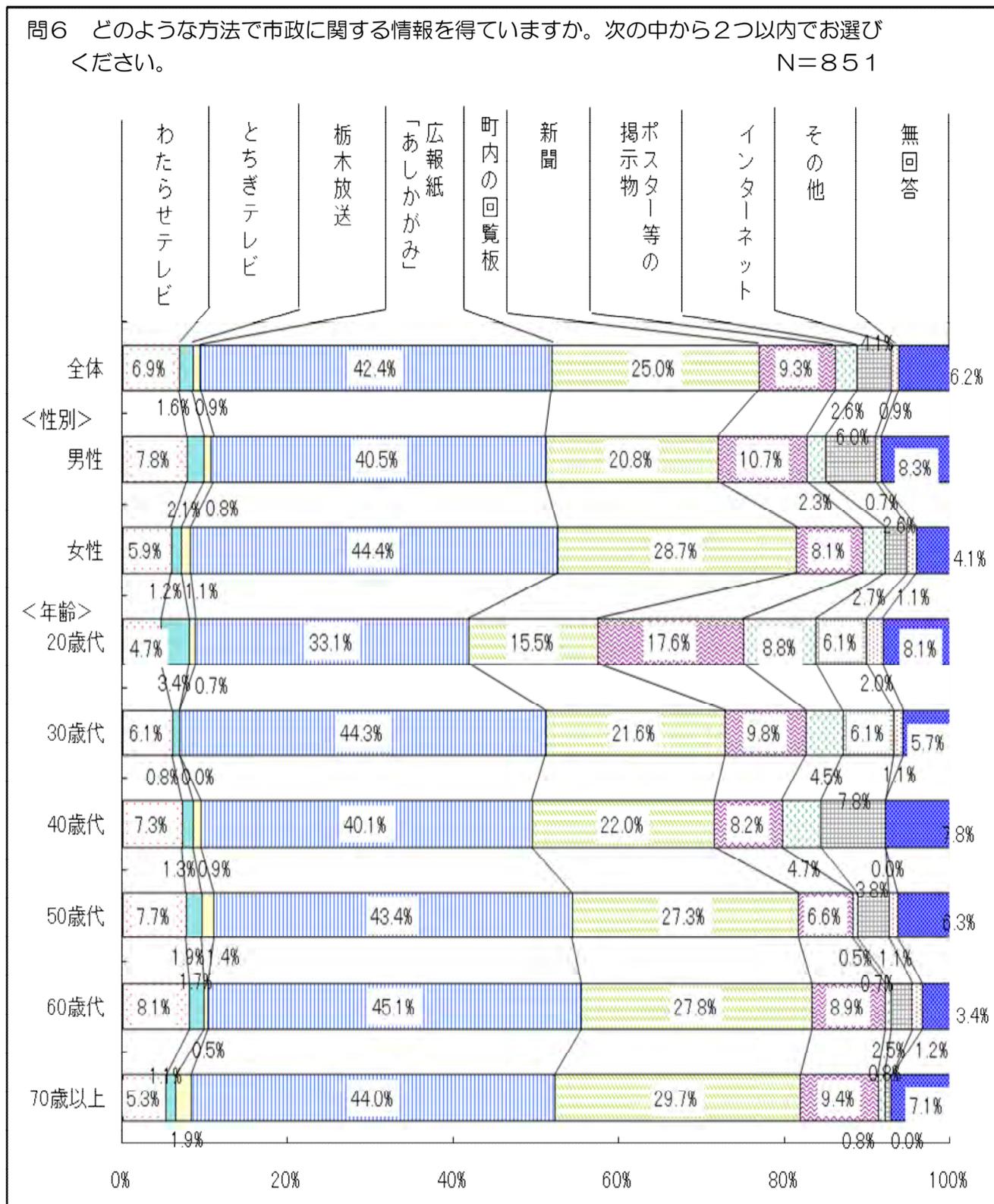
足利市ホームページの閲覧率は、45.5%

足利市のホームページを「よく見ている」方の割合は5.4%、「ときどき見ている」方は16.7%、「見たことがある」方は23.4%であり、これらを合計すると、ホームページの閲覧率は45.5%となり、昨年と比較すると、2.9ポイント上昇しています。

性別では、男性の方の閲覧率が高く、年代別では30歳代の閲覧者の割合が62.1%と最も高く、60歳代の32.0%が最も低くなっています。

一方、「よく見ている」方の割合では、70歳以上の方が9.0%で一番高くなっています。

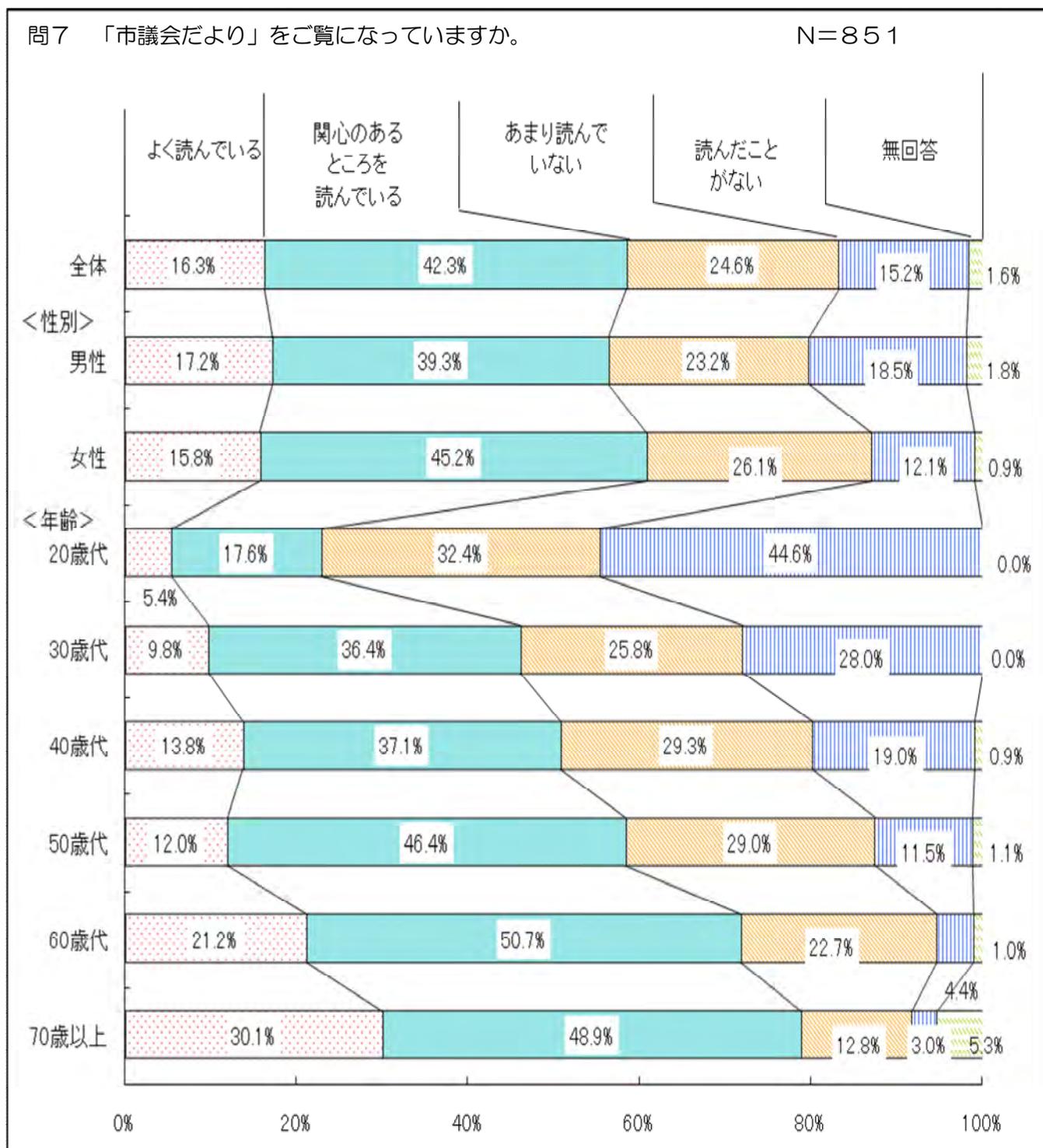
③ 市政情報の入手手段



市政情報の入手手段は、「あしかがみ」が42.4%

市政に関する情報の入手手段では、割合の高い順に「広報紙あしかがみ」が42.4%、「町内の回覧板」が25.0%、「新聞」が9.3%、「わたらせテレビ」が6.9%、「インターネット」が4.1%となっており、4年間とも同様の順となっています。

④ 「市議会だより」の閲読



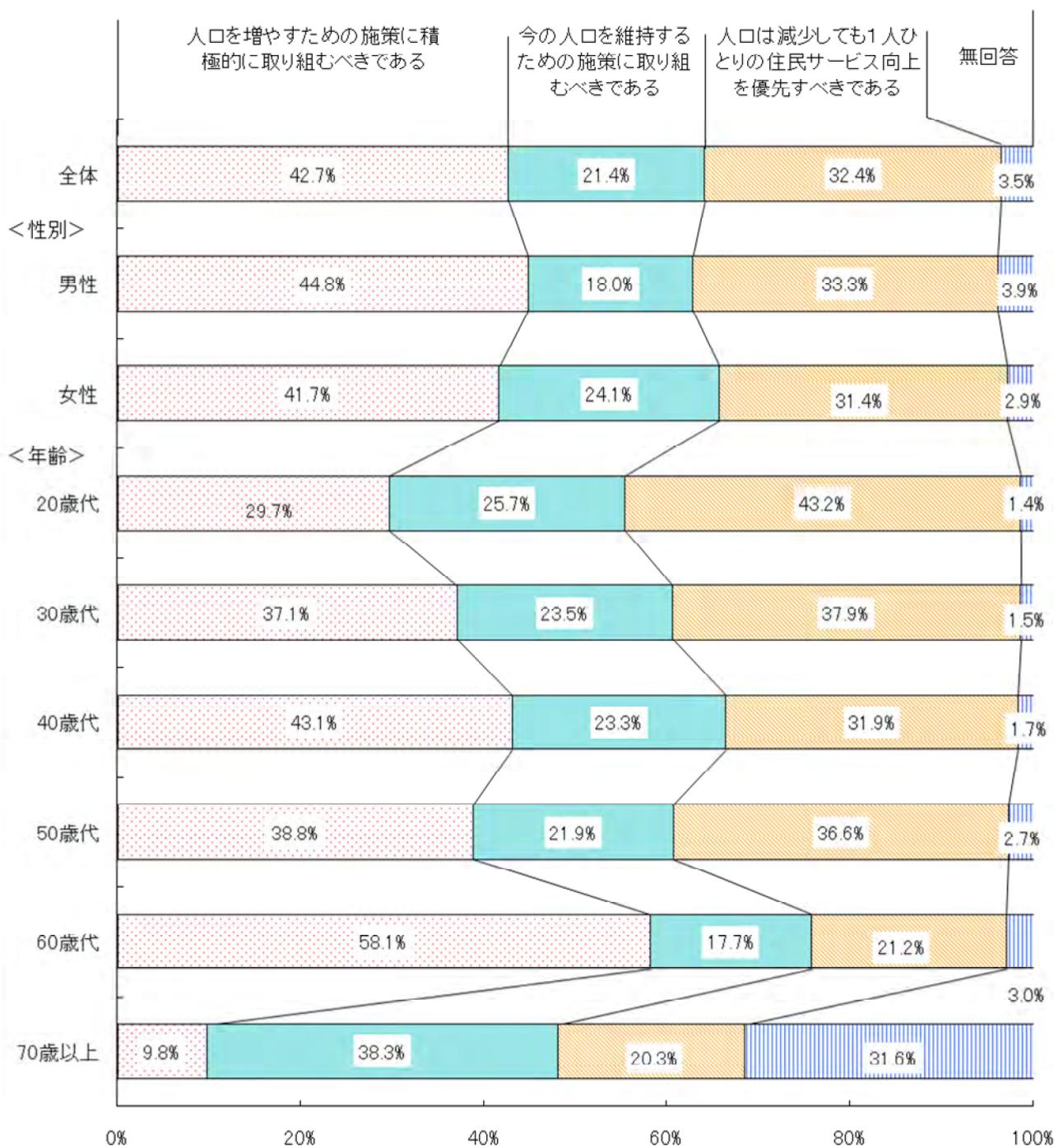
「市議会だより」の閲読率は、58.6%

「市議会だより」の閲読については、「よく読んでいる」方の割合が16.3%、「関心のあるところを読んでいる」方の割合が42.3%であり、これらを合わせた閲読率は58.6%となっています。性別では、女性の方の閲読率が高く61.0%となっています。

年代別では、「広報紙あしかがみ」と同様の傾向を示し、年代が上がるに従って、閲読率が高くなり、「よく読んでいる」方の割合では、70歳以上の方が30.1%で最も高く、閲読率では70歳以上の79.0%が最も高くなっています。

(5) 今後における人口に対する本市の取り組み

問8 「人口減少」について今後の人口に対する本市の取り組みについてあなたのお考えに近いものを次の中からお選びください。 N=851



「人口を増やすための施策に積極的に取り組むべきである」を選んだ方の割合が42.7%

「人口を増やすための施策に積極的に取り組むべきである」を選んだ方の割合が42.7%で最も高く、次いで、「人口は減少しても1人ひとりの住民サービスの向上を優先すべきである」を選んだ方の割合が32.4%、「今の人口を維持するための施策に取り組むべきである」を選んだ方の割合が21.4%となっています。